

2018年9月吉日

成蹊大学法学部卒業生の皆様へ

成蹊大学法学部長 金 光旭
成蹊大学法学部同窓会長 武藤 正司

成蹊大学法学部創立50周年記念行事開催のご案内

拝啓 清涼の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、成蹊大学法学部が開設されてから本年度で50周年を迎え、この度、創立50周年を記念して以下の行事を開催することといたしました。今回の記念の催しでは、法学部諸先生によるゼミを実際に皆様に体験していただこうと、記念ゼミを行うことになりました。学生時代に思いを致し、又これまでの社会経験を踏まえてのゼミ体験を通して、現在の法学部教育の一端を知っていただければと存じます。

つきましては、記念行事を通じ、皆様との旧交を温めるべく、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

敬 具

1. 開催日：2018年11月18日(日)

2. 法学部創立50周年記念ゼミ

受付：10：15～11：00（場所：大学1号館1階コモンルーム・ロビー）

時間：11：00～12：30（場所：大学2号館ゼミ室）

内容：裏面のゼミ一覧をご参照ください。

必ず第三希望までゼミを選択の上、返信葉書にご記入ください
(先着順決定)。

後日、決定したゼミの資料を郵送させていただきます。



3. 50周年記念合同祝賀パーティー（経済学部50周年記念祝賀パーティーとの合同開催）

時間：13：00～15：30

場所：大学6号館地下1階カフェ&ホール「COMMichi」

会費：5,000円

当日、経済学部創立50周年記念行事も併せて開催されており、祝賀パーティーは合同で開催します。

※1. なお、ご出席の方は10月12日(金)までに、同封の葉書にてご返信 並びに 以下の口座宛に会費の納入をお願いいたします。(記念ゼミのみ参加の場合には、会費納入は要しません。葉書のみお送りください。)

<会費口座> 三菱UFJ銀行 吉祥寺支店 普通 0730729 「一般社団法人成蹊会(桜祭)」

※便宜上「桜祭」口座を使用しております。

※2. ご家族同伴者は、本人の会費とは別に追加でお一人様3,000円をお支払いいただければパーティーに参加できます。(お子様は無料)

※3. 本通知は、法科大学院同窓会の皆様方にもご案内させていただいております。

1. 学園史料館特別開館のご案内

2018年度に大規模リニューアルし、記念会当日の9：30～16：30特別開館しておりますのでお立ち寄りください。

(成蹊学園史料館 <https://www.seikei.ac.jp/gakuen/archive/>)

2. 卒業生を対象とした「帰属意識・満足度調査」ご協力をお願い

2018年3月より卒業生アンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

既に回答がお済みの場合は改めてご回答いただく必要はございません。

回答方法：https://mt2023.secure.jp/~mt2023008/seikei_alumni_2018q.html にアクセス

(回答受付：11月末まで) 問合せ先：成蹊学園企画室経営企画グループ (TEL：0422-37-3761)



このQRコード
からもアクセス
できます。

ゼミ番号	担当教員	テーマ	内 容
<法律学科>			
1	吾妻 聡 教授	AI・ロボットと法	昨今の AI (人工知能) の進化はめざましく、AI が人間知性を超えるシンギュラリティ (技術特異点) が 2045 年に迫っているとする説すらあります。そうした近未来を見据えて、AI をめぐる法規制の論点・課題を探ります。
2	北川 徹 教授	企業の社会的責任を考える	近年、企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) ・社会貢献への要請はますます大きくなっています。企業の経営陣は、こうした社会の期待や要請にどのように対応したら良いのか、参加者で議論します。
3	佐藤義明 教授	AI 時代の戦争と国際法	戦争の歴史は技術の進歩の歴史であり、兵器が開発されるたびに、それをいかに規律するかが課題となってきました。この演習では、国際法の観点から、人工知能 (AI) を用いた戦争にいかに対応するかを考えます。
4	塩澤一洋 教授	論述力を磨くゼミは最新の IT をこう使う!	2000 年開講の本ゼミは IT を駆使して司法試験問題の論述を訓練しています。学生たちが Mac/iPhone/iPad/Scrapbox 等をどう使って起案スキルを磨いているか。最新の手法をご紹介します。
5	原 昌登 教授	職場のパワハラ防止対策について考える	職場のパワーハラスメント (パワハラ) の問題が深刻さを増しています。どうやったらパワハラをなくせるか、一緒に考えてみませんか。厚生労働省の有識者会議の委員であった教員が議論のお相手を務めます。
6	瀧 史彦 准教授	社会を動かした裁判	著名な訴訟事件の社会的影響を論じます。次の中から事前に選んだ 1~2 件を扱います。電通過労自殺訴訟/マタハラ降格訴訟/GPS 無断取付け捜査/大川小学校津波訴訟/NHK 受信料訴訟/有責配偶者からの離婚請求
7	湯原心一 准教授	社外取締役の選任を会社法上義務化すべきか	会社法の平成 26 年改正の際に、社外取締役の選任を会社法上義務化すべきかについて多くの議論がなされたことを踏まえ、本ゼミでは、社外取締役の選任を会社法によって義務化すべきかについて議論します。
<政治学科>			
8	浅羽隆史 教授	都区制度を考える	以下のような点を中心に検討します。●都区制度の沿革、●特別区の権限と財源の実態、●都区財政調整制度、●一部の特別区がなぜ市を希望するのか、●一般市への転換の課題、●基礎的自治体や大都市制度のあり方
9	今井貴子 教授	英国社会の分極化と EU 離脱問題 (ブレクシット)	英国の EU 離脱という「世界史的事件」の政治・社会的背景を考えます。特に「普通の人々」が抱く疎外感・生活不安・政治不信の高まりとポピュリズムの台頭との関連に着目して検討します。
10	遠藤誠治 教授	平和を欲するならば戦争の準備が必要か?	「平和を欲するならば戦争の準備をせよ」というのは古典古代ローマの格言です。今でもこの考えは生きています。戦争や紛争のメカニズムは大きく変化する現代、この考えは正しいでしょうか。多角的に検討します。
11	高安健将 教授	世論調査と政治	人々が何を考えているのかを知ることは民主的な政治運営には不可欠です。他方で、世論調査の結果の正確さや政治への影響については批判もあります。本ゼミでは具体的な論点を整理しつつ問題を多角的に検討します。
12	西村美香 教授	児童虐待にどう向き合うか	今年前期 2 年生ゼミの児童虐待に関する報告 (Power Point) を教材として討論します。参加者には、教材の予習はもちろん、独自のリサーチで意見をまとめてくることを期待しています。
13	西山隆行 教授	2018 年アメリカ中間選挙の分析	今年 11 月にアメリカでは中間選挙が実施されます。中間選挙では、選挙区の事情に基づく投票が行われると共に、トランプ政権に対する中間評価も行われます。選挙の分析を通して、アメリカ政治の現状について考えます。
14	野口雅弘 教授	マックス・ウェーバーの新訳『仕事』を読む	『職業として…』の邦題で親しまれてきた講演の新訳『仕事としての学問 仕事としての政治』をテキストにします。この本を媒介 medium として、かつて読んだ際の思い出や現代との関連など自由に議論したいと思います。
15	平石 耕 教授	戦後思想を考える	天皇の退位によって平成最後の年となる今年、敗戦直後の日本において天皇制やデモクラシーをめぐってどのような議論があったのか、幾つかの論考を手掛かりに改めて考えてみたいと思います。
<教 養>			
16	境 広志 教授	World Sports	世界のスポーツ事情について、Alan Tomlinson 著『World Atlas of Sport』を活用し、歴史、文化、政治、経済など様々な側面から学ぶ。プレゼンテーションとディスカッションを行う。
17	野原将揮 准教授	漢字の源流—秦始皇帝の文字統一の実態	「春秋戦国時代の文字」、「秦始皇帝の文字統一」をテーマに我々が普段何気なく使用している漢字の誕生とその発展について議論します。実際に古代の漢字を書いてもらいます。文字の本質についても議論しましょう。
18	里村和秋 教授	19 世紀末の短編小説の解釈の試み	19 世紀末オーストリアを代表する作家、ホフマンスタールの『騎兵の物語』(Reitergeschichte) を読み、作家の自伝的な情報や時代背景などを説明しながら、解釈を巡ってさまざまな議論を行う。なおテキストは和訳を使います。